

観光業界から成田空港活性化への提言

2010. 1. 27 JATA関東支部

1

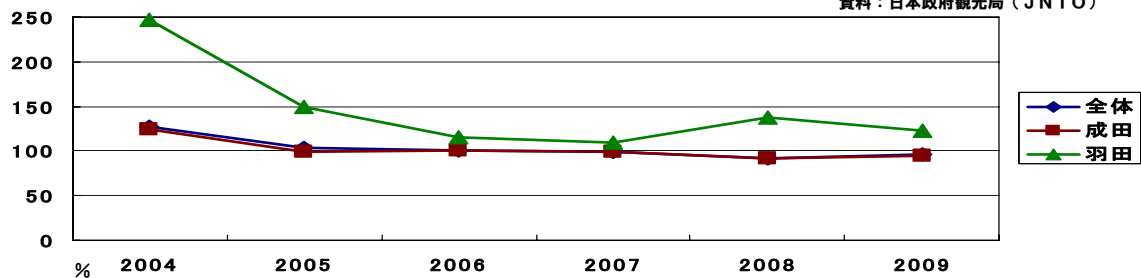
海外旅行渡航者の状況

◎全国渡航者数推移 ⇒ 3年連続前年割れ (2010年は回復予測)

◎首都圏空港利用者推移 ⇒ 羽田空港利用者は堅調な伸び

	2004	2005	2006	2007	2008	2009 (12月分は速報値)
日本人出国者数(千名)	16,831	17,403	17,534	17,294	15,987	15,441
前年比	126.6%	103.4%	100.8%	98.6%	92.4%	96.6%
うち、成田	124.3%	98.7%	100.6%	99.1%	91.7%	94.6%
うち、羽田	247.7%	149.1%	115.9%	110.1%	137.4%	121.8%
訪日者数 前年比	117.8%	109.6%	109.0%	113.8%	100.0%	----

資料：日本政府観光局(JNTO)



◎渡航者傾向 ⇒ 若年層海外旅行離れ
 ⇒シニア層(60才以上)が牽引(2012年～団塊世代ピーク)
 ⇒経済状況を反映し、「安・近・短」方面需要が堅調

2

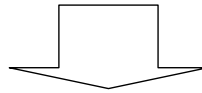
シニア世代が牽引する海外旅行マーケット

◎シニア世代 1年間の海外旅行回数(2007年/平均)

	全体	シニア男性	シニア女性
2007年1年間の海外旅行平均回数	1.6回 (1.6回)	1.6回 (1.9回)	1.6回 (1.7回)
今までの海外旅行平均回数	14.4回 (13.9回)	22.4回 (27.2回)	14.8回 (13.9回)

(注) 1. 2007年のサンプル数は、全体2,565人、シニア男性241人、シニア女性192人
 2. ()内は2006年の数値
 出展：JTB REPORT2008
 資料：(株)ツーリズム・マーケティング研究所(JTM)「海外旅行実態調査」

シニア世代(60歳以上)の海外旅行者数は、SARS・テロの影響を受けた2003年に188.8万人と大きく落ち込んだが、2004年には258.9万人という急激な回復をみせ、2007年は302.3万人と300万人超となった。2008年は282.7万人と減少したが、年齢別構成は17%台と安定している。2012年迄、引き続き団塊世代がシニア層を牽引し、更なる海外旅行需要の増加が見込まれる。



今後、よりシニア層に配慮した、利便性に優れた空港環境の整備が必要か。

増加する訪日外国人旅行者①

◎2008年度 主要渡航先(アウトバウンド) 訪日旅行者(インバウンド) 国別データ

順位	アウトバウンド	インバウンド
1	中国	韓国
2	韓国	台湾
3	米国	中国
4	香港	米国
5	ハワイ	香港

双方交流する相手国は
 いずれもアジアが中心である。
 供給増を背景に、この傾向は
 当面継続すると考えられる。

出典：日本政府観光局(JNTO)

◎2008年度 都道府県訪問率

東京への訪問率は58.9%と他を圧倒。又、香港、台湾から北海道への訪問が多いことがうかがえる。

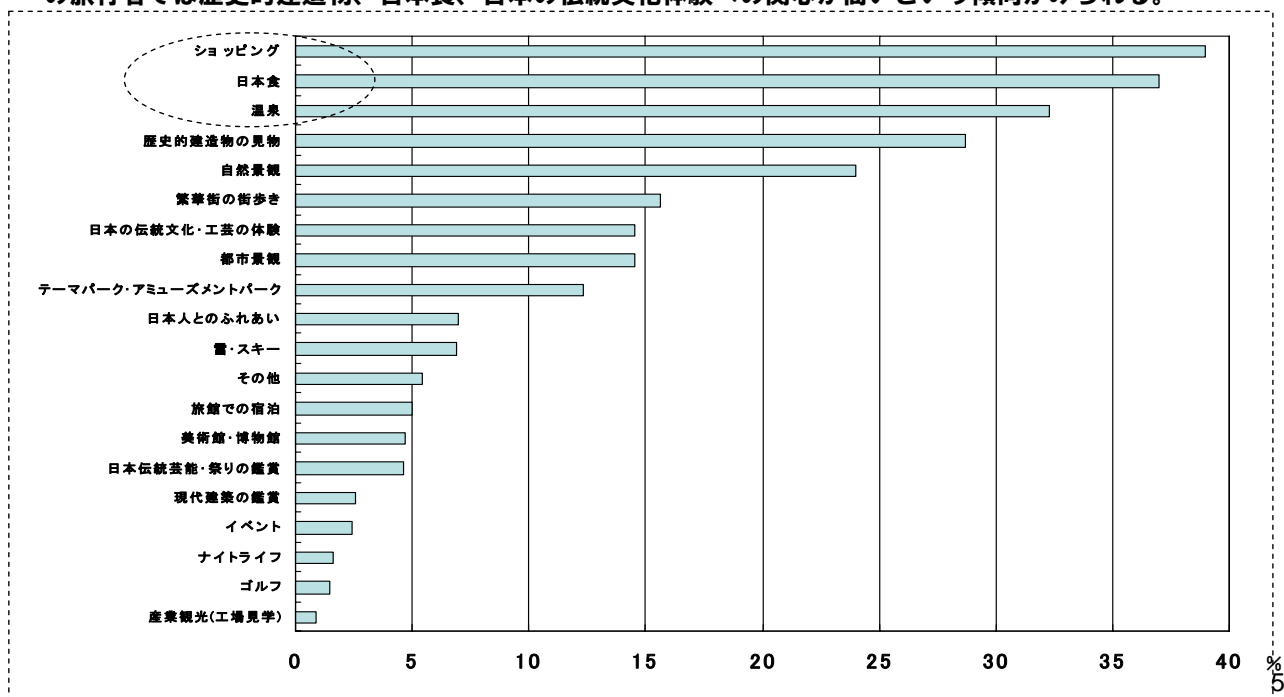
順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体	東京 58.9	大阪 25.0	京都 21.4	神奈川 16.0	千葉 11.8	愛知 10.1	福岡 9.7	兵庫 8.1	北海道 8.1	奈良 6.5
韓国	東京 45.3	大阪 21.9	福岡 21.3	京都 14.1	大分 13.4	神奈川 11.7	熊本 11.6	兵庫 7.9	千葉 7.0	奈良 7.0
台湾	東京 45.8	大阪 21.8	京都 15.9	北海道 14.8	千葉 12.8	愛知 12.6	神奈川 12.1	兵庫 8.5	福岡 7.5	奈良 5.1
中国	東京 76.9	大阪 58.9	神奈川 36.2	京都 34.3	千葉 25.2	愛知 20.4	山梨 18.8	兵庫 8.1	静岡 6.4	北海道 5.4
香港	東京 59.2	大阪 58.9	北海道 19.5	京都 13.5	千葉 13.0	神奈川 11.0	兵庫 7.7	山梨 5.2	宮城 5.0	愛知 4.9
米国	東京 67.2	京都 58.9	神奈川 20.0	大阪 18.4	千葉 9.7	愛知 8.3	奈良 6.4	兵庫 5.9	広島 5.1	沖縄 5.1
英独仏	東京 74.8	京都 58.9	大阪 22.8	神奈川 17.8	愛知 11.6	広島 11.3	奈良 10.7	兵庫 9.1	栃木 7.1	千葉 6.8

出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人訪問地調査2007-2008(訪問地調査編)」

増加する訪日外国人旅行者②

◎訪日動機

アジアからの旅行者において「ショッピング」や、「温泉」、「日本食」への関心が高い。欧米からの旅行者では歴史的建造物、日本食、日本の伝統文化体験への関心が高いという傾向がみられる。



出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人訪問地調査2007-2008(訪問地調査編)」

増加する訪日外国人旅行者③

2008年 全体		
1	ショッピング	39.0%
2	日本食	37.0%
3	温泉	32.3%
4	歴史的建造物の見学	28.7%
5	自然景観	24.0%
6	ファッション	17.9%
7	繁華街の街歩き	15.6%
8	日本の伝統文化・工芸の体験	14.5%
	都市景観	14.5%
10	テーマパーク・アミューズメントパーク	12.3%

* 3年連続でショッピングが1位をキープ

2006年度 34.8%
2007年度 39.2%
2008年 39.0%

* 日本食への関心が高まっている

2006年度 19.4%
2007年度 36.5%
2008年 37.0%

韓国、香港、米国、カナダ、英・独・仏は2006年度比で約20ポイント上昇。

韓国		
1	温泉	41.1%
2	日本食	38.4%
3	ショッピング	36.8%
4	繁華街の街歩き	22.9%
5	ファッション	19.7%

台湾		
1	ショッピング	41.0%
2	温泉	36.0%
3	自然景観	34.6%
4	日本食	34.0%
5	歴史的建造物の見学	26.9%

中国		
1	ショッピング	50.9%
2	温泉	39.7%
3	歴史的建造物の見学	25.3%
4	自然景観	24.4%
5	日本食	23.0%

香港		
1	ショッピング	60.0%
2	日本食	50.6%
3	温泉	34.2%
4	ファッション	32.5%
5	自然景観	27.7%

タイ・シンガポール・マレーシア		
1	ショッピング	49.7%
2	日本食	45.3%
3	歴史的建造物の見学	33.6%
4	自然景観	29.3%
5	温泉	27.1%

オーストラリア		
1	歴史的建造物の見学	46.4%
2	日本人とのふれあい	35.6%
3	日本食	30.4%
4	温泉	20.3%
5	漫画・アニメ・ゲーム・J-POP	17.5%

米国・カナダ		
1	歴史的建造物の見学	56.3%
2	日本食	33.5%
3	日本の伝統文化・工芸の体験	29.9%
4	ショッピング	22.9%
5	自然景観	19.1%

英・独・仏		
1	歴史的建造物の見学	65.3%
2	日本食	37.6%
3	日本の伝統文化・工芸の体験	33.3%
4	ショッピング	15.8%
5	日本人とのふれあい	15.5%

資料：日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人訪問地調査2007-2008」

- ◎アクセス利便性の向上（時間・コスト）
- ◎快適な移動手段、インフラ整備
- ◎シニア層に支持される空港環境整備
- ◎単なる乗り継ぎ地、発着地ではない、時間を費やす価値のある、魅力的な観光地としての周辺環境整備
- ◎訪日旅行者に対する成田空港のイメージ向上
- ◎若年層への成田空港認知度向上

成田空港 利用促進10策

- ①アクセス時間の改善 ⇒ 消費者は価格に敏感
- ②（夜間）到着便に考慮したバス運行時間の柔軟な対応
- ③消費者負担経費（空港内及び近隣駐車場・高速代金等）軽減
- ④空港設備の改善 キーワード「シニアに優しい空港づくり」
 - 例：ポーターサービスの充実（空港駅、空港内）
 - 例：手ぶら旅行の対象拡大
 - 例：バス停車位置の改善
 - 例：宅配業者ブースとチェックインカウンターの近接化
 - 例：両替所混雑の緩和
 - 例：荷物預所の増加 など
- ⑤成田空港CSアップの取り組み
 - ホスピタリティ・おもてなしの気持ちを前面に、お客様の満足度向上＝再利用促進に向けた関係者全員の意識改革運動

⑥「楽しめる」成田空港づくり

近隣市民、県内住民も気軽に「遊び」に来ていただける情報発信地化

- ⇒ 日本人旅行者に対して
各国政府観光局との交流イベント・各県観光情報、地域PR など
- ⇒ 訪日外国人に対して
日本の伝統工芸品、アニメなどの日本のソフトパワーの発信 など

⑦成田空港 周辺市町村地域の活性化

地域にヒトを呼びこみ活性化を図る地域活性化。単なる乗り継ぎ地、発着地ではない、「もう1泊したくなる」「立ち寄りしたくなる」観光素材の開発

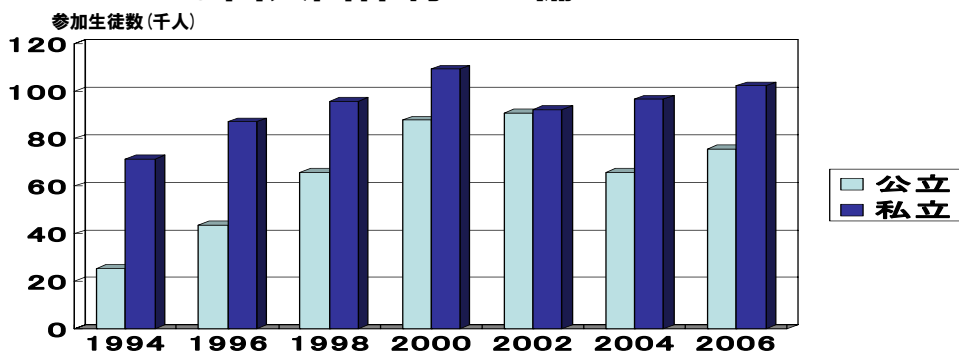
例：乗り継ぎ時間も有効活用できるミニオブショナルツアー
例：日本人・外国人の双方が、気軽に満足できる空港周辺施設の拡充

大規模ショッピングセンター(電化製品、ファッション、物産センター)、温泉施設、食事(地産地消)、ゴルフ、文化体験型観光 など

⑧若年層対策 修学旅行の誘引

→羽田との差別化課題は『コストダウン』!?

- ◇成田空港施設使用料の軽減
- ◇成田までのアクセス料負担補助
- ◇スムーズな出入国体制の整備



資料：文部科学省初等中等教育局国際教育課「平成18年度高等学校等における国際交流等の状況について」

⑨国際会議の誘致促進
日本国内の都市別国際会議開催件数

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
1	東京(23区) 353	東京(23区) 428	東京(23区) 357	東京(23区) 460	東京(23区) 440
2	京都 149	京都 170	京都 137	京都 154	京都 183
3	神戸 84	大阪 94	名古屋 108	福岡 126	横浜 157
4	名古屋 83	名古屋 89	横浜 105	大阪 111	福岡 151
5	大阪 80	横浜 82	福岡 97	名古屋 109	名古屋 109
6	福岡 77	福岡 76	大阪 89	横浜 103	神戸 89
7	つくば地区 72	札幌 65	つくば地区 60	神戸 76	つくば地区 82
8	札幌 46	千葉 59	神戸 58	つくば地区 64	大阪 76
9	横浜 41	千里地区 58	札幌 54	千里地区 49	仙台 51
10	千里地区 39	つくば地区 56	仙台 42	札幌 48	札幌 44

(注) 1. 国際機関・国際団体(各国支部を含む)または国家機関・国内団体(各々の定義が明確でないため民間企業以外全て)が主催し、参加総数が50人以上、参加国が日本を含む3ヶ国以上で、開催期間が1日以上会議の数(2007年統計から新基準)
 2. 一つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、それぞれの都市に1件として計上してあるため、都市別開催件数は実際の会議開催件数より多くなる
 3. 千里地区は豊中、吹田、茨木、高槻、箕面の5市
 4. つくば地区は土浦、つくばの2市
 出展：日本政府観光局(JNTO)「コンベンション統計(2007年)」

⑩目指せ全国NO1
『成田から もっと！海外へ』運動の実施

■背景

- ・若年層の海外旅行控え
- ・千葉県民の出国率(2008年)は、東京・神奈川につき全国3位

資料：法務省「出入国管理統計月報」

■目的

海外旅行需要喚起を目的として、若年層への優遇措置を含め、県民全体での旅券取得と成田空港発の海外旅行促進運動に取り組み、「海外旅行は日本の表玄関 成田空港から！」のメッセージを全国に発信することにより、空港機能紹介とイメージの向上、利用者増加につなげる。

■実施策

- ・県内の学校法人、企業に対する海外旅行の支援
- ・県民の旅券取得費用の軽減化(特に未成年への補助策)
- ・取得の利便性(旅券申請箇所の拡大)向上 など

(参考) 旅券取得に関する費用

区分		手数料合計額	千葉県収入証紙	収入印紙
新規	10年旅券(20歳以上)	16,000円	2,000円	14,000円
	5年旅券(12歳以上)	11,000円	2,000円	9,000円
	5年旅券(12歳未満)	6,000円	2,000円	4,000円
	限定旅券	6,000円	2,000円	4,000円